



笑はしよる みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度 国際ロータリー第2730地区 宮崎県中部グループ

宮崎アカデミーロータリークラブ 会報

第 86 回例会 2022年 4月 26日

- 例会場 zoom オンライン ロータリーソング 手に手を繋いで
会長 水居 徹 副会長 原田隆治 幹事 辻清



■会長の時間 水居 徹会長

みなさん、こんにちは。

ビジター、ゲストの紹介ですが、本日の卓話をお願いしております、宮崎大学 客員教授 飛田洋先生です。先生、よろしく願いいたします。

さて、宮崎県内では少し感染症拡大も減少傾向を見せていますが、まだまだ油断できない状況です。

先週は東京で全国レベルでのロータリー活性化セミナーが開催され400名以上が全国から参加されました。そこで宮崎アカデミークラブをクラブ拡大の事例として発表してまいりました。また、おとといは鹿児島で次年度の地区研修協議会が、次年度の会長幹事と委員長を招集して、リアルでは2年ぶりに開催されました。

withコロナという言葉はあまり好きではありませんが、気を付けながらいろいろなチャレンジをしていくしかないですね。

本日は私のロータリーの暮らしの中で、お世話になった先輩方の話をいたします。

宮崎RC 通算で20年以上在籍していました。坂下孝二さん（坂下組）は、私のスポンサー（推薦人）です。今でもロータリーの中で判断しないといけないときに意見を伺ったり、アドバイスをもらったりしています。兄ぐらいの年ですが、スポンサーは親も同然と言われます。

佐藤嘉信さん（東産業）は経済同友会でも先輩で、指導してもらっていました。印象に残るのは、彼が幹事の時に私が東京西RCから再入会する際に入会に反対意見があり、その時に動いていただいたことがあります。

加賀城征洋さん（加賀城建設）は同じく経済同友会でお世話になった方です。私の父を知っているとのことで、「あなたのお父さんには世話になった、だからあなたの役に立ちたい。そしてあなたは誰かの役に立つてほしい」と言ってもらいました。ロータリーでは生き字引のような方ですので、いろいろな相談をさせていただきました。

古賀和美さん（古賀総合病院）はよくいく料理屋でも一緒になることが多かったのですが、そこで、幹事になってほしいと言われ、第63代会長の時に幹事を務めました。私のかかりつけ病院のオーナーですので、頼もしい存在です。

池ノ上克さんはみなさんもお存知ですが、宮崎クラブの野球チーム、メタボリックスと一緒に野球をしていました。池ノ上先生はサード、私はセカンドでした。池ノ上先生はサードゴロをワンバウンドでファーストに投げますが、私はセカンドから2バウンドでしか投げられません。

細川義明さん（細川レディースクリニック）は同じ野球仲間ですが、私は細川先生のお父様に取り上げられたご縁があります。ロータリーのことでもいろいろとアドバイスをいただきました。

塚田正徳さん（ツカコーポレーション）はピザハットを経営されていますが、もともとケンタッキーフライドチキン本社に居られた方です。あのカーネルおじさんにも会っている方で英語も堪能です。彼のケンタッキー時代の後輩が韓国に居られて、なんどかソウルでご一緒しました。

東京西RCには3年間在籍しました。

スポンサーは2人おられて、森口さん（味の浜藤）は入会時から今でもお世話になっている先輩です。この方が例会場のホテルオークラのトイレで、洗面台を使った後、そこを紙タオルで拭かれているのを見ました。以後、私もできるだけそうしています。

もうひとりには米倉さん（理容米倉）で、オークラにある伝統のある床屋さんです。全国の理容師の組合の会長をされていたので、宮崎にもよく来られ、ニシタチをご案内したこともあります。

辰野さんは今、RIの理事ですが、東京西RCの2年目に会長をされていました。先週の活性化セミナーの主催者で、フレンドリーに久しぶり！とお声がけいただきました。

今井英夫さん（オフィス今井）は美容師で、表参道のカリスマ美容師の草分けです。彼はカラーリング協会をつくられ、大企業の総務部を回り、カラーリングのチャートを定着させた方です。茶髪をJALではチャートの何番までOKというようなルールを作らせた方です。

旗照夫さんは往年のジャズシガーで、NHKの歌のおにいさん（おねえさん）第1号です。日比谷高校のOB会会長で、たまたま長男が日比谷高校に入学しそこで声掛けいただいたことがあります。

植村秀さん（シュウウエムラ）は世界的なコスメブランドを創業された方ですが、いつも黒で統一されたファッションですらりとして、同じ委員会でお世話になりましたが、寡黙でかつこよかった方です。

旗さんとシュウさんは故人です。

ロータリーの醍醐味はこのようにいろいろな業種の素晴らしい方と出会うことにあります。みなさんもロータリーで友達を増やしてください。

■幹事報告 安田副幹事

第86回例会 幹事報告

①クラブカレンダーについて

5月の後半のクラブカレンダーが届きました。

メイクアップされる場合は、最新のクラブカレンダー



をご確認ください。

②第87回例会の案内について

次回2022.5.10の第87回例会は「ホテルきよ武」にて食事付きで開催します。食事の準備のため、既に皆さんに出欠を求めています。2022.4.28までに事務局まで返信をお願いします。

受付は11：30からです。随時、食事をとっていただきます。例会中の食事も結構です。

久しぶりの対面例会です。

楽しみにしております。

③クラブ協議会（現・次期）について

第87回例会後に「ホテルきよ武」にてクラブ協議会を今期・次期の役員・理事（各委員長）にお集まりいただき開催します。

現・次期の役員・理事におかれましては、出席をお願い致します。

④My Rotaryアカウント登録者数について

4月11日現在 My Rotaryアカウント登録者数 31名/39名中
79.49%

4月24日現在 My Rotaryアカウント登録者数 35名/39名中
89.74%

アカウント登録100%まで、あと少しです。

皆様のご協力、感謝します。

■出席報告

クラブ管理委員会 梶田副委員長

本日状況

会員数 39名 出席20名 欠席19名 出席率51.28%

第85回例会修正出席

会員数 39名 出席20名 web出席5名 欠席14名 出席率64.10%

■委員会報告及びニコニコ清花報告、その他報告

RID2730地区補助金事業報告書

2022年4月25日

宮崎アカデミーロータリークラブ
一般社団法人日本トーゴ友好協会
金岡 保之

宮崎アカデミーロータリークラブの地区補助金プロジェクトが完了したので、下記の通り報告する。

1. プロジェクト名：トーゴ共和国パダペ村パダペC公立小学校教育支援事業
2. 概要：

宮崎県日向市と交流のあるトーゴ共和国は、水不足が深刻であり国民の約4割が安全な水の確保に問題を抱えている。また、長距離の水汲みにより子供たちは勉強の機会を失っている。パダペC公立小学校は、この問題に加えて学習の場であるクラスルームや教科書などの図書が不足している。

この現状を是正する為パダペ村で、宮崎アカデミーロータリークラブ、国際ロータリー第2730地区が主なドナーとなり、日本トーゴ友好協会（JTFA）、現地NPO法人や現地RCと協働してクラスルームの建設、井戸掘削、図書寄贈の3つの事業を行った。

本プロジェクト全体の運営は、宮崎大学金岡研究室内に設置した、一般社団法人日本トーゴ友好協会が、宮崎アカデミーロータリークラブの委託を受けて、現地の運営・管理はNPO法人リテラルが、ロメ・パールロータリークラブと共同して行った。

3. 総予算：750,277円

4. 期間：2021年10月～2022年3月31日
5. 場所：トーゴ共和国パダペ村
6. 運営主体：宮崎アカデミーロータリークラブ、一般社団法人日本トーゴ友好協会（宮崎大学金岡研究室内）
7. 協力団体
 - ・ 国内：駐日トーゴ共和国大使館
 - ・ 現地：NPO法人リテラル（代表スティーブ・ボジョナ、駐日トーゴ共和国大使館前大使）、ロメ・パールロータリークラブ
8. プロジェクト内容：

トーゴ共和国首都ロメから北西へ約140kmに位置する人口約5,500人のパダペ村のパダペC公立小学校において、集会施設（クラスルーム）建設、井戸掘削、図書寄贈を行った。

(1) 集会施設（クラスルーム）建設

村の小学生の数は約500人で十分な教育の場が不足しており、学校の校舎は古く屋根が朽ちていて雨漏りがすることなどの課題があった。そこで、50人程度の小学生が収容できる集会施設（クラスルーム）を建設した。

(2) 井戸掘削

小学校に井戸などの設備がないため、飲料用はもちろんのこと、コロナ禍で手洗いの水がない。また、寒期などの時期によっては遠方に水汲みに行くことで教育の機会が奪われている現状があった。そこで、小学校に新たに井戸を掘削して、500人の小学生に安全な水を常時供給することができ、また教育の時間や機会を提供した。

(3) 図書寄贈

小学校では、教育教材としての教科書や図書が慢性的に不足している。その現状改善の支援のために、教科書や参考書としてのフランス語（公用語）の図書を200冊寄贈した。

9. これまでの実績

2020年12月～2021年6月、トーゴ共和国首都ロメから北西へ約60kmに位置する人口約500人のアティテコペ村において、井戸修復、トイレ建設、図書寄贈を行った。

現地協力団体は、今回と同様NPO法人リテラル他である。リテラルの代表者のスティーブ・ボジョナ氏と筆者の関係は、2011年に日本トーゴ友好協会を設立してからの駐日トーゴ共和国大使館大使と一般社団法人日本トーゴ友好協会会長の関係であり、これまで数多くのプロジェクトを行なってきた。また、ロメ・パールロータリークラブは今回のプロジェクトで初参加であり、先を見据えて参画を依頼した。

10. 資料

これまでの実績と本プロジェクトの概要一覧表と本プロジェクトに関する見積り、現地の地図や現地協力者情報などを下記に添付した。

11. 経緯

2021.11.12	井戸試行掘削で問題発生
	深く掘る必要があり、重機と電気料金の追加が必要。
	JTFAとリテラルが費用負担で合意
2021.11.25	着金、クラスルーム工事開始
2021.12.19	井戸掘削85%完了
2022.1.7	クラスルーム工事完了
2022.1.19	井戸工事完了、図書寄贈完了
2022.2.15	ボジョナ氏から最終レポート提出
2022.3.	ドナーネームプレート設置完了

12. 経費（単位：円）

出金		入金	
Class Room	365,620	Rotary	670,297
Well	345,000	Club Le Litteraire	39,657
Books	39,657	JTFA	40,323
Total	750,277		750,277

13. 成果

2730地区、現地NPOやRC、駐日大使館などの協力を得て、コロナ禍の遠いアフリカの事業を、ほぼ予定通り完了することができた。

現地小学校代表者からも感謝の言葉を頂いた。「雨の時の授業ができるのと、子供達が水汲みの労働から解放されて、就学できるためこの事業に対して感謝しています」

YouTube動画「トーゴ共和国パダペ村教育支援事業（RID2730 宮崎アカデミーロータリークラブ）」 <https://youtu.be/NCOyW9cLcPg>

14. 写真



工事以前からあるクラスルーム



新クラスルームの建築予定地



新クラスルーム完成



新クラスルーム利用の様子



井戸掘削完了



図書200冊の寄贈の様子



図書200冊の寄贈の様子

Mr. le Charge, bonjour!

Je crois que vous gerez la fatigue avec les moyens de bord.
Prenez de temps de vous reposer par moments.

Eh bien, j'ai effectue le virement ce matin.....

Je vous prierais de prendre attache avec mon frere (Ahego Kangnivi ADUAYOM) au 90
06 79 84 pour les dispositions a prendre.

REMITTANCE DATA

CUSTOMER NAME ADUAYOM KANKOE

CUSTOMER CODE 164520

BENEFICIARY NAME	ADUAYOM KANGNIVI AHEGO
BENEFICIARY CODE	164520A
DESTINATION COUNTRY	Togo
BANK	Counter
ACCOUNT	
ATM DEPOSIT	
ATM FEE	
TOTAL	¥ 720,000
FEE	¥ 1,900
JPY AMOUNT	¥ 718,100
AMOUNT TO RECEIVE	XOF 3,529,516.46
EXCHANGE RATE	1 XOF = 0.2034556314266346 ¥ 1 ¥ = 4.9150763530149 XOF
PIN	55803916

資料：

現地への送金完了の通知 (2021.11.25)

大使館ジュルス氏からトーゴ現地への送金

集会施設建設見積書 (CLASSROOM CONSTRUCTION)

PROJET DE CONSTRUCTION DES HANGARS

CADRE DE DEVIS ESTIMATIF ET QUANTITATIF

N°	DESIGNATION	UNITE	QUANTITE	PRIX UNITAIRE	MONTANEN F CFA	
					PARTIEL	TOTAL
	FONDATION					
I	TRAVAUX PREPARATOIRES					
1.1	Amené et repli du chantier	ff	1,00	100.000	100.000	
SOUS TOTAL I					100.000	
II	TERRASSEMENT					
2.1	Fouille en puis pour semelle	m³	2,28	1.200	2.736	
2.2	Fouille en rigole de fondation	m³	11,66	1.200	13.992	
2.3	Remblais provenant des fouilles	m³	3,45	2.200	7.590	
2.4	Remblais provenant d'apport	m³	7,2	2.500	18.000	
SOUS TOTAL II					42.318	
III	BETON – BETON ARME					
3.1	Béton de propreté déposé à 150kg/ m³ en tranché	m³	0,41	7.000	28.700	
3.2	Béton de propreté déposé à 150kg/ m³ pour semelles	m³	0,113	70.000	7.700	

3.3	Béton armé dosé à 350/ m³ pour semelles	m³	957	80.000	45.600	
3.4	Béton armé dosé à 350/ m³ pour longrine de section 15x15	m³	0,93	80.000	74.400	
3.5	Béton armé dosé à 350/ m³ pour poteaux en fondation	m³	0,05	80.000	4.266	
3.6	Béton armé dosé à 300/ m³ pour dallage au sol ép.=5cm	m³	1,18	75.000	133.000	
SOUS TOTAL III					295.666	
IV	MACONNERIE					
4.1	Pose des agglos de 20 pleins pour fondation	m³	11,66	7.500	87.450	
4.2	Enduit extérieur du soubassement et bordure de rigole	m³	11,66	2.200	25.652	
SOUS TOTAL IV					113.102	
TOTAL MONTANT FONDATION					554.188	
ELEVATION						
V	MACONNERIE					
5.1	Maçonnerie en agglos de 15 creux pour séparation et sur chainage	m²	26,76	7.500	200.625	
5.2	Enduit ciment sur maçonnerie su chainage	m²	53,53	2.200	117.766	

5.3	Chappe bouchardé au sol	m²	36	2.000	72.000	
SOUS TOTAL V					390.391	
VI	BETON – BETON ARME					
6.1	Béton armé pour poteaux en élévation	m³	0,34	27.200		
6.2	Béton armé pour chainage	m³	0,7	80.000	56.000	
SOUS TOTAL VI					83.200	
VII	MENUISERIE					
7.1	Fourniture et pose de ferme en bois	ml	25	5.000	125.000	
7.2	Fourniture et pose de panne en bois	ml	51,66	5.000	258.300	
7.3	Fourniture et pose de tôle bac alu y compris toutes sujétions	m²	36	9.000	324.000	
SOUS TOTAL VII					707.300	
MONTANT TOTAL HT					1.651.879	

井戸掘削見積書 (WELL)

CADRE DE DEVIS ESTIMATIF ET QUANTITATIF D'UN FORAGE

N°	DESIGNATION	U	Q.T	PRIX		MONTANT EN F CFA	
				UNITAIRE	PARTIEL	TOTAL	
FONDATION							
I	Forage						
1	Tyaux crepines 125	u	3,00	16 000	48 000		
2	Tyaux plein 125	u	10,00	15 000	150 000		
3	Pompe a immerger de 0.75	u	1,00	95 000	95 000		
4	Tuyaux pression 32	u	12,00	3 000	36 000		
5	Produit de forage	kg	1,00	15 000	15 000		
6	Racord d'union 32	u	6,00	1 000	6 000		
7	Embout de 40/32	u	1,00	2 000	2 000		
8	Reducteur 40/32	u	1,00	2 000	2 000		
9	Corde blanche	m	50,00	500	25 000		
10	Ciment	pqts	2,00	4 000	8 000		
11	Eau	m³	25,00	2 500	62 500		
12	Colle tengite	kg	1,00	8 000	8 000		
13	Polytank 1000 l	u	1,00	150 000	150 000		
14	Perforation du forage	ff	1	350 000	350 000		
15	Floteur d'eau	u	1,00	15 000	15 000		
16	Installation du forage	ff	1,00	50 000	50 000		
17	Electricite	ff	1,00	30 000	30 000		
18	Maçonnerie	ff	1,00	200 000	200 000		
19	Menuiserie	ff	1,00	50 000	50 000		
20	Ferrailage	ff	1,00	50 000	50 000		
TOTAL ACHAT FONDATION							1 352 500

Arrêté le présent devis à la somme de : **Un million six cent cinquante – un mille huit cent soixante-dix neuf (1.651.879) F CFA.**

Arrêté le présent devis à la somme de : **Un million Trois Cent Cinquante Deux Mille Cinq Cents Francs (1 352 500) CFA**

図書寄贈見積書 (BOOK DONATION)



SCHOOL EQUIPMENT PROGRAM (DONATION OF BOOKS)

KPADAPE VILLAGE

A Total of 230 books will be donate to the school at Kpadape village to help children.

	Title	Nbre	Price
	<i>La princesse aux beaux cheveux</i>	25	50.000
	<i>A la recherche de ses origines</i>	25	50.000
	<i>Esso le petit curieux</i>	30	90.000
	<i>Le soleil et l'épervier</i>	20	50.000
	<i>Djanta</i>	20	50.000
	<i>Un intrus dans notre Takyiènta</i>	25	50.000
	<i>La lune et le soleil</i>	20	50.000
	<i>L'étoile l'oiseau et le poison</i>	20	50.000
	<i>Mondowè et le cheval</i>	20	50.000
	<i>Akuété mon frère</i>	20	40.000
	TOTAL		530.000

Budget total d'achat des livres... 530.000FCFA

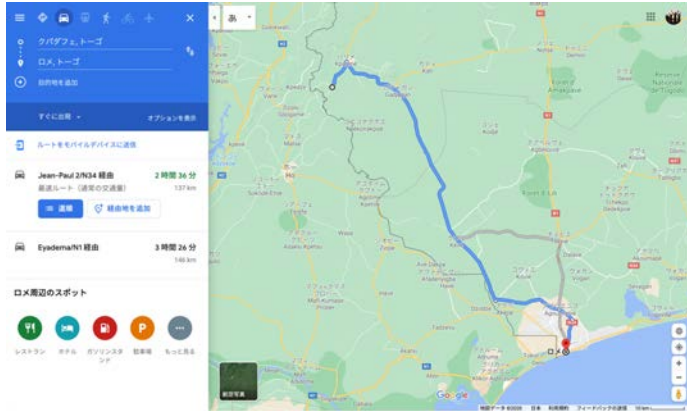
計算書

Detail of the budget

CLASSROOM CONSTRUCTION	1.651.879FCFA	(312.240JPY)
WELL	1.352.500FCFA	(255.757JPY)
QUALITY CONTROL FOR CLASSROOM AND WELL	200.000FCFA	(37.820)
BOOK DONATION	530.000 FCFA	(100.217JPY)
	TOTAL IN JPY: 706.034JPY	

※上記のうち、QUALITY CONTROL FOR CLASSROOM AND WELLは、上記の見積には含みません。現地のNPO法人リテラルが行います。

首都ロメからクパダペ村への地図と写真



クパダペ村



Mr. Steve de Bodj

- ・ 前駐日トーゴ共和国大使
- ・ President of CLUB Le Littéraire NPO (NPO法人リテラル代表)
- ・ Advisor at the the Diplomatic Unit of the Head of state Cabinet (大統領府外交補佐官)
- ・ At the President Cabinet, we have like economic department, diplomatic department, and so and so. Diplomatic department in charge of all diplomatic, cooperation matter related to President office in link with our MOFA.



ロメ・パールRC

- ・ 会員数：15名
- ・ 年齢構成：32～55歳
- ・ 設立：2017年6月2日



ニコニコ清花BOX

勢井 由美子会員

■卓話

たじろぐ若者を名もなき英雄にしたい！

宮崎アカデミーLC卓話 2022年4月26日（火）飛田洋

はじめに 新型コロナ感染症に思う

島崎藤村は「人の世には三智がある 本を読んだり話を聞いたりして得る智 他人との交流を通して人から得る智 実際に体験して得る智」というが、この環境下もあり、うまく人と交流で



きず関係が築けなかったり、体験不足のため首尾良く課題に対処できなかったりするなど、智が生かせない状況にあるのではないかと危惧している。

1 たじろぐ若者たち

その国の未来はどこで分かるか その答えは「若者」にある。宮崎や日本の若者は？

大卒の宮崎県内就職後の3年内離職率はここ10年の平均では約4割、全国の中で本県は不登校児童生徒の率も高い。

内閣府公表の【我が国と諸外国の若者の意識に関する調査】（平成30年度実施 ・調査対象国：日本、韓国、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン（計7か国）・調査対象者：各国満13歳から満29歳までの男女 ・調査数と時期：各国とも1,000サンプル回収を原則として、WEB調査、平成30年11月から12月までの間に実施）によると「①自国の政治にどれくらい関心がありますか ②社会をよりよくするため、私は社会における問題の解決に関与したい ③将来の国や地域の担い手として積極的に政策決定に参加したい」という問いに対して、『関心がある』と答えた割合は、7か国中でどれも日本は最下位であり、社会参画意識が低い。

そんなデータが示す様に、宮崎や日本の若者はたじろいでいないか？ たじろぐ若者は大人が育てた。そんな若者を引き受けきる現代社会であるだろうか？

2 日本の子どもがそんなに（たじろぐように）なったのはなぜか

「苦勞や我慢はしなくていいよ。」「自分が嫌なことは従わなくてもいいよ。」そんな日本へ変化したことが、若者のたじろぎと深く関わるのではないか。高度成長の中で、日本の教育や子育ての価値観も転換したことがその原因ではないか。しかし、時代が変化しても「しつけの基本」や教育で大切にすべき「不易」の部分は変わらず、普遍である。外部環境がどう変わろうと、人間の遺伝子のほとんどはまず変わらない。「人間性が何か」は変わらない。古典の価値・人間性その普遍性も変わらない。「人間が共同生活をしなければ生きられないこ

と」も変わらない。それが、「変わったという勘違い」が「戦後の価値観の転換」や「高度経済成長」の病理ではないか？ 子育ての優先事項に「コストパフォーマンス（投資効率重視）」があるか？ 最短で目標に到達する「子どもが努力や工夫がなくて簡単に効果が出る子育て」はあり得ない。「戦前や戦後直後の世代」と「現代の親世代や子供世代」との「決定的な違い」は、「教育論や教員の指導力の違い」ではないと感じる。その違いは「一見豊かな日本に生きている」という事実であり、今必要な最高の先生、その先生の名は「貧乏や欠乏という名の先生」であろう。その先生が「勤勉」「共同や助け合い」「我慢」等を教え、人を「生きる知恵があり、心ゆたかな存在」に育てたいのではないか。

3 たじろがない若者を育てる

「ヒト」は本来は「野生（自然）生物」であり、野生生物は野生生物の原則に従う。野生は自分優先で快樂原則に従う。弱肉強食であり力の支配を受ける。しかし、野生生物「ヒト」を社会性生物「人間」へと変える営みが、「教育・しつけ・内省」であり、そのことで「野生生物ヒト」の人間への「社会化」ができてきた。人間社会は約束事（倫理・道徳、法律、社会通念等）社会であり、「ヒト」は手入れしなければ「野生に戻る危うい生物」である。そのことを踏まえ「自己教育できる教養や人生観」を有する存在に若者を育てたい。

野生の原理である「快樂原則」のままでは、世間はそれを許さない。「自己中心が許されない人生・思う通りに行かない人生」や「他人の都合に合わすこと」に「適応」できない「人間」は生きられない。それができない若者がいることこそ現代の病理であり、そこを超えることこそ、たじろがない若者を育てる秘訣。快樂原則に束縛されない人づくり・そこを超える人づくり、快樂が最優先ではないと知る人づくり、それが今求められる。

しかしながら、私たちの社会も自然界のように、ある意味弱肉強食である。では、本当に野生動物と同じかという点と違う。人は失敗から学ぶ力、学習する力、反省する力等人間にしかない能力を持っており、これらの能力が人間・自分を磨き上げる。

その磨き上げのスイッチの開花は「上手くいかないこと、しくじる
こと、恥をかくこと」である。人間だからこそ、毎日悩み、反省し、
学ぶことができる。それを生かさない手はない。

決心とか、志とか、自分がどうあるべきかは、自分自身の実体験か
らしか生まれない。

「褒める子育て」も否定こそしないが、実は、子どもが自己肯定感
もてるようするには「どれだけ褒められたか」ではなく、どれだけ子
どもが自己決定し、チャレンジし、失敗も含めて経験したかであり、そ
のことこそ大事だ。苦勞し、間違いながらも、自己決定し、やり上
げ、経験を積み重ねる中でこそ、自分で自分を褒めることのできる人
に成長する。

迷ったら、悔いのない道、ハードでも悔いのない道を選ばせたい。
たとえ、結果は三振でも、バットは振る。そのためには ①指示で動
かさない。指示待ちを止めさせる。②失敗は学ぶことができる機会と
考える習慣化をさせる。③失敗は努力不足と考える習慣化、失敗を
「センス」や「能力」のせいにはしない。④小さな失敗や思い通りに
行かぬ経験を沢山させる等を配慮したい。

自分には社会の流れを変える権力はない。知識や技術もない。多額
の寄付をできる経済力もない。だから、自分にはたいしたことはでき
ない。そうだろうか？ 自分の暮らしの延長に世界があり未来があ
る。だれかのために、地域で職業で、今できる最大のことをする。だ
れかのために、身近な課題も、地球規模の課題も知り伝える。頑張っ
ている誰かを応援する。そんな存在を私は「名もなき英雄」と呼ぶ。
たじろぐ若者を、そんな「名もなき英雄」へと育てたい。